

自然学習講座

テーマ：水元公園の鳴く虫観察会

日時：令和5年10月7日(土) 18時から20時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人

申込開始：令和5年9月5日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和5年9月12日(火)まで電話で受付し、応募者より抽選。



エンマコオロギ

水元公園の静かな夜に響く虫の鳴き声に耳を澄ませ、その生態を観察します。

※小学生の方は、保護者の方と一緒にご参加ください。
 ※野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※お持ちであれば、懐中電灯をご持参ください。

イベント・ガイドウォーク

かわせみフェスティバル 9月10日(日) 10時~15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス
 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
 金町駅南口→水元公園→金町駅南口
 水元かわせみの里下車 徒歩1分 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 8月20日
(通算第197号)



水元小合溜の生きもの:187

アオドウガネ

コウチュウ目コガネムシ科

体長 18~25mm

時期 6~9月

葉っぱ大好きコガネムシ

こうたく かがや はいめん とく
 光沢のある緑色で、輝く背面が特徴です。水元公園ではノブドウやヤブガラシ、エノキ、クズなど、さまざま くさき は 様々な草木の葉を食べます。



◀後ろ脚を上げる
独特のポーズ

襲われた時、すぐに飛んで逃げられるようにするための態勢だと考えられています。

アオドウガネ

カナブン

頭は丸い

頭は四角い

カナブンじゃないよ!

アオドウガネは、時にカナブンと間違えられることもあるようです。たしかに両種は同じコガネムシ科の仲間ではありますが、頭の形や食べものなど、実は様々な点で違いがあります。



★葉を食べる



★樹液を食べる

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



8/1 ナガサキアゲハの幼虫 ミカン科の植物を食べるアゲハチョウの仲間。若齢幼虫の頃は鳥のフンに擬態している。



8/1 ナミアゲハの幼虫 ナツミカンの木にて発見した5齢幼虫。4齢幼虫までは黒色の体に白い帯が入る。



8/13 ハイイログンゴロウ 翅の様が特徴的なゲンゴロウの仲間。ポウフラなどの小昆虫を捕食する。



8/3 ゴイサギ幼鳥 白い斑点を星に見立て、『ホシゴイ』とも呼ばれる。成鳥は頭と背面が紺色で、腹は灰色、目は赤。



8/5 ニホンカナヘビ 東京都レッドデータブックでは絶滅危惧Ⅰ類に入る、日本の固有種。



8/12 イオウイロハシリグモを運ぶクモバチの仲間 毒針を刺して麻痺させ、巣のなかに運び、産卵して幼虫を育てる。



8/12 アブラゼミの羽化 夜の水元公園にて観察。日中に見られる成虫と比べ、白みがかった美しい色合いをしている。



8/13 ツユクサ 花期は6~9月。中央の黄色い雄しべは、昆虫に花を見つけてもらうために目立っている。



8/13 アップルミント 名の通り、りんごの香りがするミント。花期は7~9月。ハーブティーなどで利用される。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「“地球温暖化”の脅威と、これから」

今年も暑い日が続きますね。なんでも、今年は12万年ぶりの暑さの「異常気象」だそう。しかし、この「異常気象」という言葉、なんだか昨年も聞いた気がします。気象庁の発表によると、実際に日本の平均気温は上昇し続けており、100年で約1.3度上昇したようです。

平均気温の上昇は様々な問題を引き起こします。例えば、クーラーなんて気の利いたものがない野外では、気温の上昇による急激な環境の変化に動植物が適応できず、大量死を起こすことがあります。昨年の観察では、秋の水元公園でクモ類が例年になく減少したように感じられましたが、これは、食べものとなる小昆虫類が夏場に激減したためと考えられます。他にも、今年も既に全国で発生している水害も、気温の上昇が関係しているとされます。気温の上昇が海水の蒸発を加速させ、空気中に爆発的に増えた水分が凝固し、大雨を誘発するためです。この問題も、人の社会に及ぼす影響はとても深刻です。

地球温暖化の原因は、日々の私たちの生活の中で排出される、二酸化炭素だと言われています。この「異常気象」を「日常」にしないためには、日常の小さなことに気を使う必要があります。その方法は、葛飾区が発行する環境学習用教材「エコかつ」に分かりやすく記されています。小さなことを積み重ねながら、よりよい未来を創っていきましょう。(野間)



ボランティア活動報告

ボランティア活動で野草園のササ刈りを行いました！

8月5日に、ボランティア活動で野草園のササ刈りを行いました。野草園では夏の間にササが茂りすぎて、落ち葉溜め周辺がうっそうとしていましたが、下草に日が当たるようにササを刈りました。ササ刈りのあとは、日照りによって弱っていた植物に水やりも行いました。



落ち葉溜めの周辺が最もササが濃く、その周辺を中心にササ刈りを行いました。



ササ刈り後は、日照りによって枯死した植物やササに覆われていた下草に水をやりました。



お陰様で、落ち葉溜めの周辺もとてもスッキリしました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 8月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

8月の見頃

ノブドウ

私たちが普段食べているブドウとは異なる、ノブドウ属の一種です。野草園のフェンスに巻きついて見られる。果実は不味く食べられませんが、茎葉や根は生薬として利用されています。

実の色は様々で、その変化はブドウタマバエなどの寄生が原因とされますが、野草園においては実の中に虫の姿は見られておらず、ハッキリしません。



野草園マップ



見られるポイントはココ！